東の風

nagasaki higashi information

よき世を創る若人を育てるために

長崎県立長崎東中学校・長崎東高等学校

長崎市立山５丁目１３番１号

TEL 095-821-4642 / FAX 095-823-5472

URL http://www.news.ed.jp/higashi-h/

長崎東通信　第３１６号　令和５年８月３０日発行

高校　高校生国際平和会議

７月２８日（金）ブリックホールで「WWL高校生国際平和会議」を主催しました。国外７校（ハワイ、中国、オランダ、タイ、ウクライナ）、県外８校、県内４校から参加があり、1000名以上が参観する大規模な国際会議を成功させることができました。SDGsを軸に、「共生」「環境」「社会」「経済」の４部門に会議を編成し、「英語の部」と「日本語の部」でそれぞれ実施しました。核廃絶、人種差別の撤廃、温室効果ガス削減、ジェンダー平等の実現、ディーセントワークの推進などについて協議しました。会議出場者全員がこれまで培ってきた知識と論理性を存分に発揮し、会場からの質問や意見も止むことがありませんでした。

「高校生平和共同宣言」の発表では、1年半、本校と広島市立舟入高校が協働し、様々な協働機関と連携して創り上げた多言語の宣言文を、生徒たちが心を込めて英語で発表し、会場は感動の拍手に包まれました。

また、国連事務次長中満泉様の激励のメッセージや、国際医療団体NPO法人Red Wood Japan理事の信吉正治様の基調講演が行われ、高度で深い学びについて拝聴する大変貴重な機会となりました。

高校　夏季学習会

7月31日～8月4日の5日間、高校全学年を対象に夏季学習会を実施しました。高１、高２の部活動生は部活動の前後の時間を活用して、これまで学習した内容の総復習や、模擬試験の結果を踏まえて設定した自己の課題にじっくりと取り組むことができました。

また、受験生である高３生にとっては特に貴重な1週間になりました。学習を進める中で集中力が切れたり、妥協しそうになったりしたときに、クラスメイトの頑張る姿に励まされたという声も多く聞こえてきました。また、質問や添削指導を活用して疑問点を解決し、実力を培うことができた生徒も多くいました。夏の努力が実を結ぶまでには、まだしばらく時間がかかります。個の力と併せて、76回生の集団としての力を高めながら実りの秋に向けて着実に生徒たちは前進していきます。

高校　オープンスクール

「オープンスクールを終えて」

実行委員長　深堀花美（高校2年5組）

7月15日（土）に本校で中学3年生を対象とするオープンスクールを開催しました。今回は初めての試みとして、オープンスクール実行委員会を立ち上げ、私たち生徒が企画をし、運営を行いました。オープンスクールに向けて案内ポスターや学校紹介の動画、特設HPサイトの作成など様々な試みをしました。

オープンスクール当日は、第１体育館で吹奏楽部と書道部による歓迎のパフォーマンスから始まり、本校の特色の一つであるWWLの活動について３年生が説明しました。その後、東高生活に関するキーワードを元に生徒間で質疑応答をするような形で学校説明を行いました。この学校説明は、中学生のみなさんに楽しみながら東高のことを知ってもらいたいと思い、特に力を入れて企画しました。また、来年度から導入予定の新制服のお披露目も行いました。

授業体験では、国語、数学、英語、社会、理科の５教科に情報も加えて、6教科の中から希望する授業を体験してもらいました。情報は、新課程大学入試で実施されるため、中学生にも情報の面白さを知ってもらいたくて、先生方に実施の提案をしました。

体験授業後は、中学校別に生徒交流会を行いました。私たちが後輩の中学生に向けて学習や部活動、学校生活や受験についての話をしました。はじめは緊張した様子が見えましたが、だんだんと打ち解けていき、中学生からも質問が出るようになり、進路選択の一助になったのではないかと思います。

今回、はじめての試みでなかなかうまくいかなかったところもありましたが、無事成功させることができました。今回の活動で、私たち自身も東高の良さを再発見することができ、東高生にとっても中学生にとっても有益な時間を過ごすことができました。

実行委員会が作成した「特設webページ」にて、当日の様子や生徒の取り組みがご覧いただけます。本校ＨＰをお開きください。

中学　ミニオープンスクール

7月1日（土）を予定していましたオープンスクールは荒天のために実施できず、代わりに7月25日（火）～8月3日（木）の6日間、長崎東中学校の様子を知っていただくために、中学校ミニオープンスクールを実施しました。猛暑の中、小学生とその保護者約400名に参加をいただきました。今回は、生徒による学校紹介、施設見学など通常よりは簡素化したものとなりました。生徒による学校紹介では、在校生にしかわからないことや学校生活での経験を踏まえて、話をしてくれました。施設見学では、施設の充実さや部活動の様子など、学校生活を感じていただいたのではないかと思います。

高校　合同平和フィールドワーク

７月２７日（木）にハワイ、オランダ、ウクライナの生徒や、県外７校・県内４校の生徒とフィールドワークを実施しました。本校高２生が平和記念像について英語で説明しました。「右手は原爆、左手は平和を意味し、顔の表情は犠牲者への祈り、原爆に対する怒り、悲しみ、平和への決意ともとれる。観る人によって、様々なとらえ方ができます。」との説明に、みな聴き入っていました。爆心地公園と原爆資料館では、平和案内人を務めるガイドさんから原爆の実態について説明を受けました。涙を流す生徒もおり、核兵器の非人道性と被害の凄惨さを学びました。

フィールドワークをもとに意見交換を実施しました。原爆被害の凄惨さについて初めて触れ衝撃を受けた県外生徒も多く、平和への想いを強くしました。特に避難民であるウクライナの高校生は、避難前の状況や、現在のロシアのウクライナ侵攻について、心に共振するところがあり、日本の高校生と共に、平和への強い決意を新たにしていました。

中高　大会等の結果

〈高校〉
◆全日本高校生ピストル競技選手権大会
・ＡＰ少年女子
第４位　３年２組　横川香菜
・ＢＰ少年女子
第４位　３年２組　横川香菜
◆長崎県吹奏楽コンクール
金賞
◆特別国民体育大会陸上競技長崎県予選会
・少年少女共通走り幅跳び
第３位　３年２組　松尾弥奈
◆長崎県高等学校新人体育大会テニス競技長崎地区大会
・女子ダブルス
準優勝　２年３組　福田心花
　　２年６組　中村未李衣
第３位　１年３組　塚脇小春
　　１年３組　矢田陽
◆地区高等学校新人卓球大会
・女子シングルス
準優勝　２年１組　田浦リタ
◆県高等学校音楽コンクール
・ピアノB部門
銀賞　１年５組　栗﨑寛奈
銅賞　２年４組　吉村望来
・打楽器部門
銀賞　２年４組　岩﨑真歩

〈中学〉
◆長崎県中総体テニス競技
・男子団体　第３位
・男子シングルス
第２位　２年３組　森保光平
◆長崎県中総体卓球競技
・女子シングルス
第３位　３年２組　坂本莉菜
◆長崎県中総体水泳競技
・男子１００m背泳ぎ
第２位　３年３組　井上泰我
・男子２００m自由形
第２位　３年２組　鈴山瑞稀
◆長崎県中総体空手道競技
・男子個人形
第３位　２年１組　江口詠時
◆中学校対抗卓球新人戦長与大会
・男子団体　第３位
◆２０２３音の夢ピアノコンクール鳥栖ピアノステップ地区予選
・審査員特別賞
１年１組　柿田龍之介
◆NHK杯全国中学校放送コンテスト長崎県大会
・アナウンス部門
優秀賞　１年１組　中尾柚月
　　２年１組　泉沙良
　　１年２組　田中虎之輔
・朗読部門
優秀賞　２年３組　前田杏佳

9月 「九月祭」を成功させ、「ひがし」を一つに

主な行事 9月

1日(金)	文化祭（本校会場）
4日(月)	振替休日（9/9分）
5日(火)	大学入学共通テスト 説明会（高３）
6日(水)	体育祭総合練習
7日(木)	体育祭総合練習予備日
8日(金)	体育祭会場設営
9日(土)	体育祭・後夜祭
11日(月)	体育祭予備日
12日(火)	放課後補習再開（高３）
13日(水)	長崎大学高大連携講座 （高２）
16日(木)	対外マーク模試 （高３　～9/17） 進学ゼミナール （高１・２） 第２回学力推移調査 （中全）
19日(火)	前期専門委員会（高） 県内就職に関する講演 （高２）
21日(木)	考査時間割発表
22日(金)	長崎東安全の日 WWL論文講座（高２）
23日(土)	秋分の日
26日(火)	防災避難訓練
28日(木)	第２回考査１日目 学年PTA（中３）
29日(金)	第２回考査２日目 学年PTA（高２） 市中総体駅伝推戴式（中）

校長より

「あなたの行動が世界を変える」

校長　立木　貴文

朝夕は少し過ごしやすくなりましたが、日中は依然「炎暑」の例えがふさわしい暑さが続いています。勢力の強い台風の襲来も相次ぎ、各地に被害をもたらしました。前号に引き続きになりますが、被害にあわれた皆様に心よりお見舞い申し上げます。

さて、表題の「あなたの行動が世界を変える」。

これは本校主催の高校生国際平和会議で発表された「高校生平和共同宣言」の一節です。宣言文の文案は長崎東の生徒が同じ被爆地の広島市立舟入高校の生徒とともに考え、真珠湾のあるハワイの高校生と議論し、ニューヨーク国連本部の中満泉次長に助言をいただき、と多くの方々との関わりの中で紡ぎ出したものです。起草した宣言文は、これまた多くの方々の支援をいただいて国連公用語（アラビア語・中国語・スペイン語・ロシア語・フランス語）とオランダ語・韓国語・ウクライナ語に翻訳され、日本語を加えた10か国語で読むことができるように工夫されています。

宣言では「（平和とは）無限に答えがあり、永遠に考えなければならないもの」とした上で、「私たちは、核廃絶に向け、世界全体が人の幸せを願う社会をつくります」と謳い、「未来を担う私たちが次世代へ平和のバトンを繋いでいきます」と結んでいます。

各地で次世代の平和の担い手育成が喫緊の課題となる中、力強く宣言を行う生徒たちに頼もしさを感じました。皆様にも是非ご一読いただきたく思います。

宣言文は、本校のＷＥＢページに掲載しています。下記のＵＲＬリンクやＱＲコードをご活用ください。

【R5長崎東】高校生平和共同宣言